

You Tube
録画中継は
こちらから

久 慈 年 和
（立憲農民クラブ）

小中学校におけるジェンダー平等意識づくりの取組は

誰もが自分らしく生きられる教育環境の充実に努める

問　第３次十和田市男女共同参画社会推進計画の重点項目「学びの場におけるジェンダー平等への意識づくり」の取組状況は。

答　市教育委員会では、児童生徒が固定的な性別役割分担意識にとらわれず、誰もが自分らしく生きられる教育環境を整えることを目的に、３つの取組を進めています。第１に、男女混合名簿の導入や「さん」づけ呼称の統一、柔軟に選択できる制服への見直し等、多様性に配慮した学校づくり。第２に、道徳や総合的な学習の時間を活用し、ジェンダー平等について考える授業や多様な生き方・進路を学ぶキャリア教育の展開。第３に、教職員の無意識の偏見を解消するため「十和田市男女共同参画に係る公的表現のガイドライン」を配布し、日常の声がけや指導における固定観念の払拭を図っています。

問　男女混合名簿導入の現状と課題は。

答　健康診断や保健体育など男女別で行う活動時の整列や確認といった「運用面での不便さ」が挙げられていましたが、既に導入している学校において、氏名欄の色分けや、必要に応じた「男女別名簿」の柔軟な併用などにより、大きな混乱もなく円滑に運用されています。市教育委員会ではこうした工夫により運用上の課題は十分克服可能であり、義務教育の実践の場でジェンダー平等を推進することは例外なく必要であると考え、校長会や学校訪問などの場を通して、その意義や工夫事例を伝達してきました。その結果、令和８年度は、新たに小学校４校、中学校１校の計５校で導入し、現在は、小学校13校中８校、中学校９校中５校で導入しており、令和９年度には全ての小・中学校で導入を予定しています。



You Tube
録画中継は
こちらから

太 田 正 幸
（立憲農民クラブ）

若葉公園南側の分離帯撤去を

部分的な撤去について検討

問　若葉公園南側の分離帯を撤去する考えは。

答　全面撤去は交通事故の増加が懸念されるため難しいと考えますが、部分的な撤去は、迂回の必要がなくなるなど、利便性向上につながるため、撤去手法について検討します。

問　官庁街通りに自転車の安全な通行空間を確保するため、自転車専用通行帯設置の考えは。

答　現状の歩道内において、自転車の適切な通行区分を促すことが重要であるため、路面標示等による通行区分の明確化に向けて検討します。

問　次期総合計画において「市民の幸福度」を指標として取り入れることで、市長公約に掲げた事業と整合性がとれなくなることも考えられるが、計画と公約のどちらを優先するか。

答　実情や課題等の変化により公約に掲げた事業の見直しが必要となる場合もあると考えます。

問　令和13年度に切田中学校を廃校するとのことだが、指定避難所としての機能はどうなるか。

答　地域住民の動線を考慮しながら、代替施設の有無も含め、これから検討していきます。

問　市民交流プラザ「トワーレ」内に整備する屋内遊戯施設は、対象年齢により３つのエリアに分かれる設計となっている。子供が複数いる親など、保護者の見守りだけでは目が行き届かないことが想定されるが、安全対策は。

答　人員配置や防犯カメラの増設等についても検討し、安心して利用いただける環境づくりに取り組みたいと考えています。

問　職員の議会対応の負担軽減に向け、パソコンやタブレットを活用し情報共有を図る考えは。

答　今後検討します。